

## 「PRANETS」の列車位置情報把握機能の使用開始について

平成20年11月12日

現行の列車位置検知システムの機能をリニューアルし、“お客様への情報提供のサービスアップ”を図るため、運転支援システム「PRANETS (Positioning system for RAil NETwork and Safety operating)」の列車位置情報把握機能の使用を開始します。

### 1. 列車位置情報把握機能の概要

GPS衛星を活用して、全国の貨物列車の位置をリアルタイムで把握することにより、コンテナ位置情報や貨物列車の遅れ情報などを正確に入手し、お客様に提供する情報の精度を高めて、サービスアップを実現します。

(注)平成20年度「日本鉄道賞選考委員会特別賞」を受賞しました。

### 2. 列車位置情報把握機能の特徴

- (1) 列車位置情報を2分に1回更新
- (2) 全国の主要線区が対象
- (3) 貨物列車の遅れ時分を正確に表示

(注)現行の列車位置検知システムは、機能が限定的(特定線区のみ対象、情報の更新間隔が30分に1回)なため、お客様から改善のご要望を頂いており、改善を図りました。

### 3. 使用開始時期

平成20年12月から段階的に東海道線を最初に、平成20年度末までに山陽線、東北線、高崎線など全国の主要線区への導入を予定しています。

